

2021ZENKOin 大阪第 13 分科会 (7/25(日) 9:30~エルおおさか)

「ミャンマーODA を問い、ODA 廃止を目指す」で

特別報告される Tin Win (ティンウィン) さんの略歴

文責：コアネット代表 遠山勝博



1954 年 11 月 28 日マンダレー (第二の都市、2014 年の都市圏人口は 214 万人) 生まれ (2021 年 7 月現在 66 歳)。上座部仏教徒が多数を占めるミャンマー/ビルマ社会の少数派であるイスラーム教徒。

1974 年に Institute of Economics, Rangoon (現在のヤンゴン経済大学) に入学し民主化運動に参加。「厳しい弾圧の中、1987 年からは元政治家や大学教授、活動家とともに地下活動を続け、大規模な抗議が展開された 88 年には逮捕され、2 カ月弱拘束された。」ⁱ「釈放されてから、アウンサンスーチー氏らが立ち上げた国民民主連盟 (NLD) のメンバーになり、幹部も務めた。」ⁱⁱ

しかし弾圧ⁱⁱⁱが激しくなり、やむなく家族とともに日本に亡命。難民として永住資格をとり、群馬県太田市で慣れない肉体労働 (15 年間) などをしてながら家族を養った。子供は 3 人とも大学を卒業。

「日本では同胞が置かれている状況をどうにかしたいという思いでミャンマー人の労働組合設立にも尽力」^{iv}し、初代会長をつとめた。組合結成に協力した「ものづくり産業労働組合」(JAM) 参与の小山正樹氏は「『日本にいるビルマ人の労働組合を作り、日本で労働運動について学び、ビルマ民主化後にはビルマでの労働運動に生かしたい』という強い意志がティンウィン氏にはあった」と語っている。^v

2011 年に長期にわたった国軍による独裁体制から民政移管が行われ、2015 年の選挙では NLD が勝利。そこで家族、親族、日本社会の友人たちと相談した後、新しい政治状況の本国で活動できるとの判断に至り、同年、妻とともに故郷のマンダレーに戻った。家業の服の店で働き、高齢の母親の面倒を見ながら、民主化運動を行う若者たちのサポートを行ってきた。ところが本年 2 月 1 日クーデターが引き起こされ、店を閉めて抗議行動を行っていたが、自分自身が逮捕拘束される危険が迫ったため、今年 6 月に再来日した。永住資格があるので、帰国直後は横浜の家族のもとに一時滞在し、7 月からは大阪市内の家族宅に移って生活している。将来は、再び「民主化」が実現された本国に帰国することを強く望んでいる。

ⁱ BuzzFeedNews/2021 年 2 月 28 日 富田すみれ子

ⁱⁱ 同上

ⁱⁱⁱ 1988 年の国軍による第 2 回クーデターに抗議する学生や市民のデモ隊への武力弾圧では、今回同様、水平射撃が繰り返され、総計で 1000 人前後が殺害された。

^{iv} BuzzFeedNews/2021 年 2 月 28 日 富田すみれ子

^v 季刊「現代の理論」第 18 号 特集●どこに向かうか 2019 「対等な労働契約関係には絶対になれない 外国人技能実習生制度と労働運動の課題」